

静岡県内では唯一の受賞です

3/3

川根高校2年の泉谷楓さんが「大切な命を守る」作文コンクールで表彰されました

川根高校2年生の泉谷楓さんが、警察庁が主催する令和元年度「大切な命を守る」全国中学・高校生作文コンクールにおいて「警察庁長官官房審議官(犯罪被害者等施策担当)賞」を受賞しました。

泉谷さんの作品「命があるからこそ」は、平成30年12月20日(木)に、静岡県警が川根高校で実施した「命の大切さを学ぶ教室」で、実際に交通事故でご家族を亡くされた方のお話を伺った際の想いを書いて応募したものです。



●賞状は川根高校の須藤校長より手渡されました



●高校の部では静岡県内唯一の受賞者となりました

この作文コンクールは、中学生・高校生が大切な命を守ることに関する考えや意見などを作文にすることにより、犯罪被害者等への理解を深め共感を生む効果を期待して平成23年度から開催されているもので、今年度も全国から約7万4千点の応募がありました。

今回の受賞に際し泉谷さんは「静岡県でも交通事故件数が増えていると聞いた。私自身も自転車通学をしているので、十分注意したい」と話しました。

3/9

4年間の生徒投稿作文を一冊に

高校生投稿作文集の自費出版を教育長に報告しました



●冊子は文化会館の図書館にも配置される予定です

川根高校の非常勤講師である稲橋徳彦さんが「論理的思考力を身に付けるための作文指導」を行った4年間で生徒たちが書いた作文を新聞社に投稿。その内容を「南アルプスの麓にこだまする『川高生の活躍』」として自費出版をしたことから、教育長にその報告を行いました。

報告のなかで稲橋さんは「主権者教育が進められるなか、生徒が自分の考えを伝えられるようにとの思いで指導を行ってきた」と話しました。

冊子は全校生徒と職員、連携中学校や同窓会などの関係者に配布されたほか、徳山区の書店でも若干数が販売されています。

おいしいお味噌ができるかな？

2/21

桜保育園で恒例の味噌作り体験が行われました

今回の味噌作りに向けて園児たちが2日前から準備をはじめ、園内の畑で育てた大豆を洗い煮るなどの用意を行っていました。

当日は、健康づくり食生活推進協議会のメンバーとともにつぶした大豆を塩麴と混ぜて味噌玉を作り、味噌樽への仕込みを行いました。

毎年仕込まれた味噌は給食で使われており、今回仕込んだ味噌も冬になるのを待って使用される予定です。

また、お昼ご飯には「味噌焼きおにぎり」なども作られ、園児たちが美味しそうに味わっていました。



●ビニールに入った味噌玉を揉みこむ園児たち

3/1

火災報知器の寿命をご確認下さい

千頭駅で火災予防街頭広報が実施されました

3月1日からの春季火災予防週間にあわせ、千頭駅で島田消防署川根北出張所による火災予防啓発活動が実施されました。

今回は、各家庭への設置が義務化されている住宅用火災報知器の普及促進と、古くなった火災報知器は機器の寿命や電池切れで動作しなくなる場合があることについての告知が行われました。

活動を行った佐野副所長は「住宅用火災報知器の寿命はおよそ10年となる。古くなった報知器は一度点検していただき必要であれば交換をお願いしたい」と話しました。



●千頭駅構内で啓発活動が行われました

1年かけた理想の逸品

3/1

エコティかわねのテーブル作りワークショップが実施されました

エコティかわねが主催したこのワークショップは、桑野山貯木場の施設を利用し、昨年3月から全5回の日程で行われたもので、テーブル材として町内の杉を伐採し、製材・加工を行うという一連の工程を体験する内容となりました。

最終日となった今回は、県内外から6組の参加者が集まり、それぞれが設計して創り上げたオリジナルのテーブルの仕上げ作業となる磨きの工程を施しました。

名古屋市から参加していた新井さんは「作業に没頭できて楽しかった。別のものを作るワークショップがあればまた参加したい」と満足げに感想を語っていました。



●1年越しの作品へ入念に仕上げ作業をする参加者